

西成区「あいりん地域のまちづくり」 第9回労働施設検討会議 議事概要

1 日 時 平成28年7月21日(木) 午後7時00分～午後9時00分

2 場 所 西成区役所 4階 4-6会議室

3 出席者

(有識者3名)

福原大阪市立大学大学院経済学研究科長

寺川近畿大学准教授

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

(行政機関13名)

大阪労働局 大谷会計課長補佐、五代儀職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労政課 地村参事、芝課長補佐、ほか3名

西成区役所事業調整課 室田課長代理、狩谷係長

(地域メンバー18名)

西村萩之茶屋第1町会長

川村萩之茶屋第2町会長

吉田萩之茶屋第4町会長

茂山萩之茶屋第9町会長

田中萩之茶屋社会福祉協議会会長 萩之茶屋第5町会長

松繁釜ヶ崎資料センター

山田大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長

西口大阪国際ゲストハウス地域創出委員会委員長

山田社会福祉法人大阪自彊館第二事業部長

村井西成区商店会連盟会長

山田 NPO 法人サポーターズハウス連絡協議会代表理事

中岡公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事 (代理：川崎氏)

荘保わが町にしなり子育てネット代表

吉岡釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表

本田釜ヶ崎反失業連絡会共同代表

野崎全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表

稲垣釜ヶ崎地域合同労働組合執行委員長

水野日本寄せ場学会運営委員

4 議 題

労働施設の耐震化について

5 議事内容

(1) 主な議事の概要

《前回の振り返り》

有) 南海高架下の構造物としての耐震性は国交省通達に基づいて耐震しているということで、問題ないとの説明をし、大多数の方々にご納得いただいた。

間取りについては、現時点で待合スペースの確保、朝食の提供場所、シャワー施設、売店について問題提起をいただいた。

道路の駐車場は現在 40～50 台だが、シミュレーションでは 37 台。道路の駐車、利用者のへのアナウンス、センターの営業時間外、などが検討課題として出たと思う。

また、労働施設検討会議での意思決定についてたくさんの意見をいただいた。

やむなし、反対、行政が責任をもって決定するのであれば何も言わない。など。

本移転の議論がされていない中、仮移転の話だけ進むのは心配であるなどご意見をいただいた。

結論的には、この会議の多数の方々の意見として南海高架下で取りまとめ、まちづくり会議に報告するという事となった。

今回、これまで本移転の議論がなされていないので、今日を出発点として、本移転の議論をしていきたい。

仮移転の具体的な内容については、現在の機能だけではなく、本移転の中にどのような機能を持ち込むのが良いのか、それを踏まえて議論していきたいと思う。

《労働施設の中身の議論について》

[機能議論、今後の会議運営、スケジュール確認]

・) 中身についての話ではないのか。

有) これからその中身の話をしようということ。

・) あいりん職安が現状、仕事の職業紹介をしていないことに対する議論をしなければいけない。

あいりん職安の所長は出てこないのか。職安の責任者が出てこないのはなぜか。

国) その予定は無い。

有) 西成センターは責任者が出てきている。これと比べての話でしょう。

西成センターは独立した組織だからであり、あいりん職安は大阪労働局の一機関なので、それを監督する立場として労働局の担当者が出てきているということ。

・) 職員の賃金は府の補助金でしょう。

有) とはいえ、府から委託している独立した組織である西成センターと、大阪労働局の一機関ということと違うということは、ご理解して頂ければと思う。

・) それと出てこないということとは別ではないか。

有) それについては検討していただくということで宜しいでしょうか。

府) スケジュール説明。決定事項ではなくイメージして頂くために以前お示したものが本移転の 35 年度の本移転を目指す場合、33 年に工事開始、32 年に実施設計、31 年基本設計、30 年度はこれの基礎となる基本計画、28 年、29 年度の 2 ヶ年をかけて基本構想の掘り起こしをしていきたいと考えている。

有) 今日を出発点として、本移転の基本計画に向けて素案を作っていきたい。

有識者で一つのたたき台として考えていることがある。府にはまだ相談していないが。

その内容は、

1. 労働者や業者、センターにとって日雇求人求職のシステムをどう使い勝手の良いものに変えていく検討が必要。
2. 求人求職においての空間的な広さ、ボリューム感の検討が必要。
3. 多様な相談機能も充実させて取り込んでいくことも必要。
4. 日雇労働のニーズに合わせた研修、職業訓練を考えることが必要。
5. 今後は多様な求職者（若者、女性）への対応も求められるとの意見をいただいている。多様なニーズにあった仕組みの検討が必要。
6. 世間に良いところが伝わっていない。センター機能を対外的に PR していくということも重要。
7. センターができて 50 年。戦後から始まり新しい建物ができ、この地域の顔になっている。一方、駅前活性化との関係性も考えることが必要。
8. センターの 50 年の歴史の中で、日々、ここに通って仕事を探してきた。その思いをモニュメントにするとかリーフレットにするとか。形にして残し建物の中に取り込んでいくことも必要。

有識者レベルで考えていることは以上だが、他に、こんなものも大事じゃないかというものがあればご意見を伺いたい。

- ・) あいりん職安の職員は何人ぐらいいるのか。
- 国) 20人ぐらい（非常勤を含めて）。
- ・) この人数で職業紹介を始めることができるのか。これでできると考えているのか。
- 国) 現状はできると考えている。
- ・) 4月1日から仕事の紹介を始めると言っている。やると宣言された。それでできるのか。
- 国) 現在はそれで進めている。
- ・) 進めているということと、できるということは違う。
 - ・) とりあえず将来の話なのでどうなるかわからないが、普通の職安とあいりん職安はどう違うのか。
どちらの職安の話をしているのか。どうしてセンターと職安、職業紹介が2つ要るのか。国で全部やればいけないではないか。
ひとつのフロアでいいじゃないかという話もある。どこの組織がどう持つのか。
という話を整理したほうがいいのではないか。
- ・) 今は、耐震で建物をどうしようか、という話でしょう。
職安の職業紹介の話ではないでしょう。職員の人数の話は、今する話なのか。
 - ・) 仮設建物は南海高架下で決まったのだから建物の話を。
 - ・) それは否定していないではないか。
 - ・) 職安やセンターの中の機能のことを議論するというのであれば、職安の人員の話はまた次の話でしょう。職安の人員の話なんて先の話ではないか。
- 有) 日雇労働について、職安の方にも良質な求人が出て欲しいとの思いを伝えていただいたと。
- ・) ざっくり言えばそのとおり。
- 有) その思いは大事だと思っている。それをつなげることを考えていかないとけない。
- ・) あいりん職安は、日雇労働者を紹介する目的でできている。
- 有) 歴史的にはそのとおり、あいりん職安を他の職安のようにするかどうかはまだ議論

がいるが、一方で今は西成センターがある。

役割分担をうまく考えながら求人求職を考えていきたいと思う。

「日雇労働者の仕事紹介をあいりん職安がやるべき」ということが今おっしゃっていること。日雇労働者のピンハネをしない紹介を職安でやれと。そう言いたいと。

・) それを今の人数でできるのか。

国) 我々としては、今の体制の中でできるように協議して進めているわけですから。今後どうなっていくのかということはあるが。

・) 他人事みたいに言うのか。

・) 日雇労働も、センター求人ばかりではなく、日雇労働の紹介の仕方、求人の仕方、などの整理が必要。

・) 一番つらいのは労働者。

・) 仮設は決まった。

では、中身はどうするかと、私らは正直中身についてはわからない。

50年間やってきて、良いことも悪いこともあると思うが、それはしっかり意見をきいて良いものを取り入れながら、時代も変わったから新しいものも取り入れてセンターをどうしていくのか、仮設でテスト的にやっていくことも大事なのではないか。

ただ、なぜ2時から仕事に行っている人たちの世話をセンターができないのか。

それから、途中でピンハネはいけない。

行政できちっと、汗流している人が有利になるようにしなければならない。

そういうことを新しくなる時に今しっかりやった方がいいと思う。

そのチャンスである。

私たちはこの場所に施設をつくるとか、そういう話是可以する。

だが、中身は議論できない。

ただ、汗を流している人が有利なシステムを作ってほしい。

有) おっしゃるとおり。

・) 同感である。

・) わからないが、使う人、運営する人が改良して、次のステップで考えることをお願いするしかない。今回我々は、耐震建て替えの議論のために出席している。

・) あいりん職安が仕事の紹介をしていないことは違法との判決が出ている。

・) そういう場所を作るということでは。

有) 大事な点である。本移転の内容については8つほど提案したが、日雇労働求人の仕組み、利用者にとって使い勝手のいいのものにしていくということが必要。

そうすることで人が集まり、地域の経済活性化の基礎になると考える。

みんなで議論することは重要。だが、中身についてはわからないこともあると思う。

今後は、テーマによって労働関係の方々で議論する。

もちろん、みなさん自由参加できる。まち全体にかかわっているときは、お声かけする。そういう2つの側面からうまく使い分けながらこの会議を運営していきたい。

・) 労働者の最低賃金は決まっているのか。

有) 決まっている。

・) 一般的な最低賃金だが。

有) 一人ひとりが汗して働いている。

ホームレス問題が出てきて、就労支援として総合的に支えていく自立支援法ができた。

現在の西成センターのやっていることは方向性としては間違っていない。

それらを踏まえて、さらに新しいものを加えていくことが必要であると思う。

有) 良質な求人をやっていくために、今後、議論を深めていきたいと考える。

[本移転の議論に向けた要望について]

・) スケジュール案の図を見ると、本設で職安は無くなるのかというように見える。

そういう意味で、職安があ跡に戻ってくるということと、西成労働福祉センターがちゃんと戻ってきてもらうということ。そこをわかるように表記してほしい

府) 労働施設という言い方は、職安と西成センター両方含めて表現している。

市のまちづくりの方向性でそういう言い方だったのでそう表現している。

分けるとわかりにくいので、これを合わせてあえてこのように表記した。

・) 職安と西成センター、それぞれ二つあって、という形の表記で。

有) 表記は直してもらおう。

府) 混乱を招かないような形でスケジュールを作っていく。

・) 基本的なスタンスを聞きたい。

本移転のデザインは事務局主導で示すのか、みんなから意見を吸い取って出すのか。

有) 基本的には、この会議で意見を吸い上げ、有識者からも出していく。

・) スケジュールは。

有) 今後一年間をかけて、意見を吸い上げていく。

1年間議論しその後半年間をかけて事務局中心に素案をつくり、皆さんに提示して基本計画としていく。

・) 1年半で大体規模が決まるのか?

機能があるから規模が決まるということもあるし、逆もある。

スタンスを教えてほしい。

有) 現在のセンター利用者を踏まえていくことにはなるが、マックスなのかミニマムなのか平均なのかで相当意見が出ると思う。

それで1年ぐらいかかると思う。

・) この場での発言ではなく、それぞれが意見を持ってくるという形にすれば良い。

有) お持ち帰りいただいて、それぞれ本移転のイメージ、意見を持ってきてほしい。

あわせて、センターの利用状況などの情報が必要。

・) 全体で議論することも大事なのではないかと。

有) 基本的にはこの形でやりたいとは思う。もちろん、みなさんに来ていただきたい。

・) 機能から規模なのか、規模から機能なのか。どちらなのか。

有) 基本前者。

日雇労働者だけならまだしも、そうでない場合、前者からになる。

・) 機能の中身はよくわからない。

有) その点も考慮しながら議論していく。

・) 色々なニーズもあるが、日雇労働者のまちなのだから、その生活を第一に考えてほしい。

・) 私もそう考えている。

《仮移転施設における機能について》

[プロジェクターにて提示]

有) これは案であり、これをたたき台としてここから考えていただければと思う。
南海電鉄に細かいことは確認してからはなる。

1. 本設に向けた新たなチャレンジする機会として活かしていく。
 - ・ 求人の森をアナログにプラス「デジタル化」の導入。
 - ・ 若者等新たな就労情報等のマッチングシステム。
 - ・ ハローワークの大型モニターの導入。
 - ・ ミニ会議室兼用ブース。相談業務の見える化と相談スペースの設置。
 - ・ 紹介スペースの有効活用。空間が余る時間帯に可動式パーテーションで仕切って技能訓練の場所としての活用など。
2. 社会情勢に応じた可変性に対応した計画の検討。
3. まちの資源を有効活用。特にシェルター機能との連携、まちの居場所機能との連携。周辺とのつながりなど、まち全体の空間としての考え方を検討。
4. 既存センターのシンボリックなものの保全。

求人の森の説明。前回ご意見があった朝食の食堂については、就労支援スペース。南海電鉄の話では壁をとって、柱と梁だけにして提供するとのこと。

2階建て、1階は3m。職安は1階建て。

有) まだ完璧ではないが、仮移転先についてまとめていただいた。
ご紹介いただいた内容についてお気づきの点があればどうぞ。

・) 駐車場の両面利用（西側）はどうなったのか。

有) 警察との協議の中で片面にしてくれとの話となった。

・) 無くなったのは、基本的にはシャワーと売店、制度的にどこまでできるかという話もあるが、今のところでは基本的にシェルターを使えることを前提にということ。

・) 車は何台止められるのか。

有) 今は37台。

・) 仮移転の中身については、どれぐらいの時間をかけてやるのか。

有) 来年の9月ぐらいまで意見を聞いていきたい。

来年の9月までには基本設計を決めて、それを踏まえて予算を組んでいただいて仮移転、そこから本移転、という流れです。

・) 売店はどうなったのか。

有) 広さと制度上の問題。

有) 労働施設の中に売店が置けるかという点が議論になる。自動販売機は置けるが。行政として対応するのか、地域の人たちの力を借りてやるのか。

今はコンビニを活用することも考えられる。

・) 前回も言ったが、売店の人たちが労働者に目を配ってくれている。

有) それについては売店とはあえて書いてないが、就労支援スペースで何らかの形で検討してくことになる。

・) オープンとクローズの時間はどうなるのか。

有) 今のところは現在の運営のとおりである。

・) わざわざここに車を止めて求人というようにはならないのではないか。

有) 以前、銀座通りで警察の取り締まりがあった。そういった方法で誘導できるのでは。

《仮移転施設供用後の施設活用について》

有) 何か他に意見はあるか。

- ・) 仮設をそのまま壊さず置いていただいて、地域全体として、何か使えるのであれば使わせていただきたい。
- ・) ぜひ青少年のために。こども、高齢者のために。
- ・) ライブができたりみんなで使えるような施設に。シェアでき若者が集まるような。
- ・) ダンスができるようにしてほしい。
- ・) 若い人たちにとっても良いし、まち興しにとっても良い。
- ・) 跡地利用についての話か。
- ・) つまり、終わってから壊すのがもったいないからということ。

有) 仮移転の後、有効活用したいということだと思います。

府) 南海との話では、供用後は更地にして返すということで内諾をいただいている。南海には一度相談をする。

有) お金の問題がある。

- ・) 南海が貸してくれるだろうか。

有) 時間もあるので、これについては、仮移転以降の扱いとして一旦大阪府にお願いしたいと思います。区役所や大阪市に関わることになるのかなど。

《その他について》

- ・) 来週区政会議があって、その日の晩にまちづくり会議がある。区政会議には市長は来るのか。

区) 区政会議とまちづくり会議の日程はたまたまバッティングした。区政会議には来ない。まちづくり会議に市長、知事が来る。

《議論のまとめ》

有) 本移転先の中身・機能について議論を開始した。引き続き検討していきたい。

また、仮移転先の中身についても議論を進め、調査等もしていくので、よろしくお願ひする。

26日のまちづくり会議への報告については事務局から。

府) 労働施設検討会議の中で、第3回から8回までの議事概要をまとめて資料として出していきたいが宜しいか。第9回はまとめる時間が無いので簡単なものとする。また、議事要旨も西成区役所のホームページにアップしたいのでご了承いただきたい。

- ・) 結構。

【まとめ】

- ・ 本移転先の中身・機能について議論を開始した。引き続き議論を行っていく。
- ・ 仮移転先の中身についても引き続き議論を行い、調査等も進めていく。

6 第10回労働施設検討会議の日程について

次回検討会議 → 8月19日(金) 午後7時00分～ (後日、開催を案内。)